

取扱説明書番号
D206-RGXZ

室内用

電波時計 取扱説明書 (デジタル掛置兼用時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造販売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2101)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間で基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**
(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 BRZ000

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

● 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

● 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

● 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

● 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

● 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

● 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

● 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

● 下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

● 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

● 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

● ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

● 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

● 液晶から漏れた液に素手でさわらない
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置きした電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなる場合があります。

GUARANTEE
保証書 ※印は販売店記入

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参ください。無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番
※保証期間
お買い上げ 年 月 日より 1年間
お客様
ご氏名 様
ご住所
TEL() -
※販売店印(住所、店名、電話番号)

- ネット通販をご利用の場合は、レシートや領収書を添付してください。
- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について ※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換

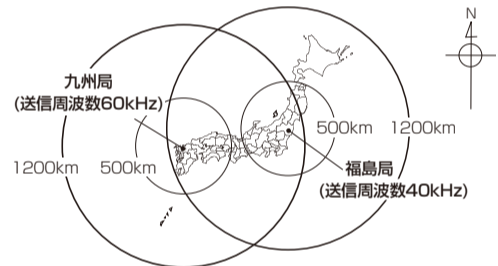
電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jijy.nict.go.jp)
※アドレスは変更になる場合があります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご利用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 地下、ビルの中、ビルの谷間
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、電池はゼロハンテープなどで絶縁してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

おもな製品仕様

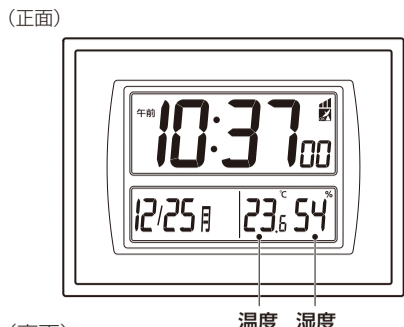
使用温度範囲	-10~50℃ *結露しないこと(液晶表示可読温度範囲0~40℃)	標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正
時間精度	標準電波受信成功直後 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)	受信局	福島局/九州局自動選択
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格R6P 2個	受信回数	8回/日
電池寿命	約1年	受信時刻	1時~4時、13時~16時の各時間帯の16分40秒から受信開始
電池の交換時期	あり 液晶に電池マークが表示お知らせ機能	受信ON/OFF	あり スイッチ操作にて切替可能
防滴防塵機能	なし	カレンダー	2000~2099年まで対応
		温度表示	-9.9~+50℃
		温度精度	±2℃
		湿度表示	25~95%RH *相対湿度表示
		湿度精度	±10%RH

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。種類の異なる電池と混ぜて使わないでください。
※付属の乾電池は、動作確認のためのお試用です。工場出荷時に同梱していますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 お試用電池 2個 取扱説明書・保証書 本書

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



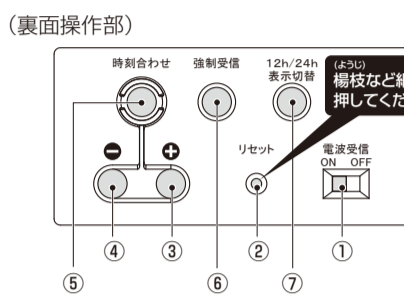
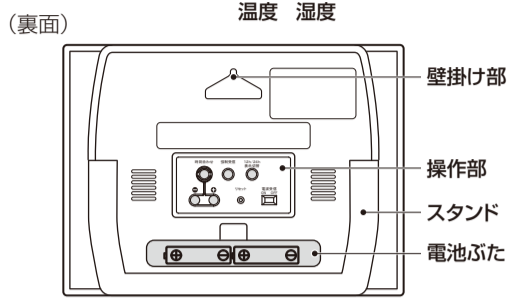
時計正面より見てください。液晶は見る方向により薄くなったり、ムラになります。

- ①電波受信ON/OFF — 電波受信のON/OFF設定。
ON: 電波を受信する
OFF: 電波を受信しない
(手動で時刻を合わせる)
- ②リセット — 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。
- ③+ (進む) — 手動で日時を合わせるときに
- ④- (戻る) — 使用。
- ⑤時刻合わせ — 手動で日時を合わせるときに使用。
- ⑥強制受信 — すぐに電波の受信を開始させたいときに押す。
- ⑦12h/24h — 12時間/24時間表示を切り替えるときに押す。

単3形マンガン電池を2個入れる



注意 電池の⊕を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。



電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせる際には**手動での時刻合わせ**をお読みください。

【受信の流れと表示】

〈リセットを押した直後〉



受信マーク
〈受信開始〉(受信中点滅)



※電源投入直後およびリセットを押した直後は、2007年1月1日、午前12:00に設定されます。

受信マークの変化

電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない → 受信しやすい



〈受信終了〉
最長21分後



(受信に成功したときの表示例)

※受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。
※受信に失敗したときに表示されている日時は正しくありません。

電波の受信しやすい窓際などでご使用ください。

- ①電波受信スイッチをONにする
 - ②電池ホルダーの⊕表示に合わせて電池を入れる
 - ③リセットを楊枝などで押すと受信マークが点滅し受信を開始します
 - ④21分経過したら受信結果を確認する
受信に要する時間は、最長で約21分です。
受信マークが点灯していたら受信成功です。
【受信の流れと表示】参照
- ◎受信中はボタンやスイッチにふれないでください。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、受信できなかつたり、誤った日時を表示することがあります。場所を変えてリセットを押して再度受信を試みてください。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に**時刻合わせ**を約2秒間押し続けると、受信マークが消灯して、受信を中止します。

チェック!

1~2分経過しても受信マークが①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットを押して再度受信を開始させてください。

電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ざわで取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、リセットを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で日時を合わせて使用してください。

※電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時/分)の順に設定してください。

年、月、日、時刻(時/分)でのボタン操作

点滅している数値を+ (進む) または- (戻る) で合わせてから**時刻合わせ**を押します。

ボタン	押してすぐ離す	押し続ける
+ (進む)	1つ進む	早送り
- (戻る)	1つ戻る	早戻し

●電波受信機能がONの場合、手動で時刻合わせをしても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。

電波受信機能のON/OFF操作 参照

●約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。

●標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

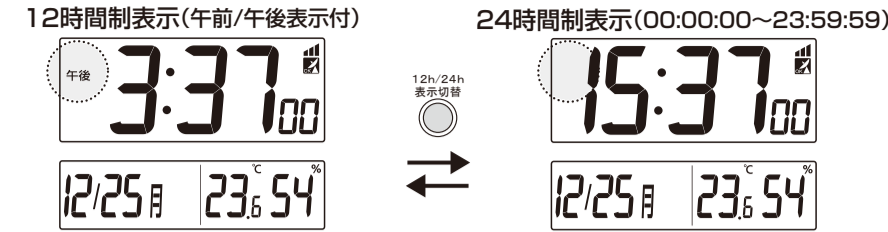
操作例. 2023年12月25日 午前10:37に合わせる



- ①年(西暦)が点滅するまで**時刻合わせ**を約2秒間押し続ける。
 - ②年(西暦)を合わせる
 - ③月を合わせる
 - ④日を合わせる
 - ⑤時を合わせる
 - ⑥分を合わせる
- ※⑤⑥ときに+ (進む) または- (戻る) を押すと秒が00になります。
- 以上で設定は終わりです。

時刻表示の切り替え

12h/24h表示切替を押すと時刻の表示形式が切り替わります。



●電波の受信中や手動で日時を設定しているときは、表示を切り替えることはできません。

●曜日の位置について

図のように曜日により、表示位置が変わります。 12/25月 12/26火 12/29金

温度・湿度表示

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

○センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度変化をすぐには反映しません。

○直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。また、湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでます。

※厳密な温湿度管理をする用途には適していません。また、温湿度の証明や商取引には使用できません。

※測定はリセット直後と、その後は1分間隔で測定します。

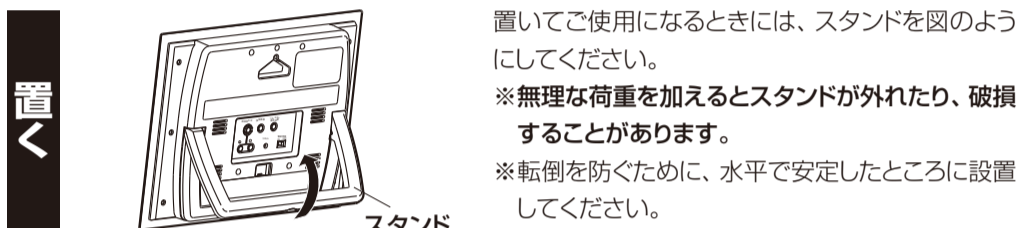
測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HHH」50℃を超える高温 「LLL」-9.9℃未満の低温

湿度「HH」95%を超える多湿 「LL」25%未満 「--」測定不可

※湿度は温度が5~50℃のときに測定可能

設置について



置く

置いてご使用になるときには、スタンドを図のようにしてください。

※無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

※転倒を防ぐために、水平で安定したところに設置してください。

掛ける

注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。

○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

※掛けるときは、スタンドを収納してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

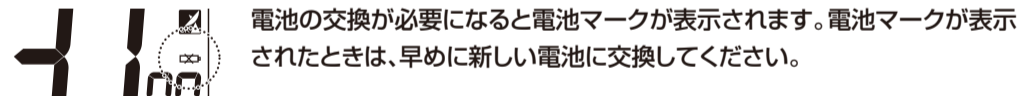
●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

●石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電池の交換時期お知らせ機能



電池の交換が必要になると電池マークが表示されます。電池マークが表示されたときは、早めに新しい電池に交換してください。

注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

●電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面・家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったときには、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕を逆に入れない。

静電気の影響について

静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

受信機能 OFF(無効にして手動で日時を合わせる)

- 電波スイッチをOFFにしてください。
- 日時は手動で合わせてください。
- 時間の進み遅れは手動で修正してください。

受信機能 ON(有効にして受信を開始する)

- 電波スイッチをONにして、リセットを押してください。受信を開始します。
- 標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

強制受信とリセット操作

強制受信

設置場所を移動したときなど、電波の受信を試みたいときに押します。受信に失敗しても継続して日時を表示します。

○手動で時刻合わせをしているときは機能しません。

リセット

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2007年1月1日午前12:00に初期化されます。

○電波スイッチがONのときは受信を開始します。

●電波スイッチがOFFのときは、強制受信またはリセットを押しても受信を開始しません。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。